

記憶は地に沁み、風を越え

日本の新進作家 vol.18

吉田志穂
Yoshida Shiho

潘逸舟
Han Ishu

小森はるか+瀬尾夏美
Komori Haruka + Seo Natsumi

池田宏
Ikeda Hiroshi

山元彩香
Yamamoto Ayaka



Memories Penetrate the Ground and Permeate the Wind Contemporary Japanese Photography vol. 18

2021年11月6日[土] — 2022年1月23日[日]

東京都写真美術館 3階展示室 (恵比寿ガーデンプレイス内)

開館時間 | 10:00-18:00 入館は閉館の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館)、年末年始 (12/28-1/4、ただし1/2、1/3は臨時開館)

観覧料 | 一般700円 / 学生560円 / 中高生・65歳以上350円

※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者 (2名様まで) は無料。
※各種割引の併用はできません。 ※1月2日(日)、3日(月)は無料。開館記念日のため1月21日(金)は無料。

本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。

事業は諸般の事情により、変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞
助成 | 芸術文化振興基金 
協賛 | 東京都写真美術館支援会員
協力 | ソニーマーケティング株式会社

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062
www.topmuseum.jp

TOP MUSEUM

記憶は地に沁み、風を越え

日本の新進作家 vol.18

Memories Penetrate the Ground and Permeate the Wind
Contemporary Japanese Photography vol. 18

東京都写真美術館では、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘するため、新しい創造活動の展開の場として「日本の新進作家」展を2002年より開催しています。18回目となる本展では、「記憶は地に沁み、風を越え」をテーマとして、私たちの身体と土地、風景、そしてその記憶との関わり合いについて、多様なアプローチで追求する作家5組6名の写真・映像表現をご紹介します。

グローバル化とボーダレス化のあり方が変容し続ける社会にあっても、歴史、風習、伝承など、それぞれの地域や土地特有の記憶は様々な形で遺り続け、そこには多様な価値観が存在します。しかしながら一方で、私たちの想いは、ときに風のような軽快さをもってあらゆる境界を越え、他者と向き合う方法を見出してくれます。居続けることと移動とを繰り返してきた人類の歴史の中で、今、私たちはどのように土地・風景と対話し、他者との関わり合いができるのでしょうか？

デジタルとアナログのハイブリッドによって、風景・イメージの多層的なレイヤーを作り出す吉田志穂。自身のパフォーマンスによる映像を通して、風景と個人の間を探る潘逸舟。自然災害とそこにある暮らしや伝承・語りを作品化する小森はるか+瀬尾夏美。10年以上にわたりアイヌの人々を撮影し、民族という類型化に疑問を投げかける池田宏。馴染みのない地域で、言語を越えて、身体と無意識の関係性を追求する山元彩香。これらの作家たちによる表現は、私たちの生きる現在を考える上で、ひとつの手がかりを与えてくれるかもしれません。



《砂の下の鯨》より 2016年
© Yoshida Shiho, courtesy of Yumiko Chiba Associates

吉田志穂

Yoshida Shiho

1992年、千葉県生まれ。2014年東京工芸大学芸術学部写真学科卒業。インターネットでの画像検索によって被写体となる場所をリサーチし、実際にその場所に足を運び撮影するという、デジタルとアナログの間を往来する制作手法により、多層的な時空間が表現されている。主な個展に、「Quarry / ある石の話」(Yumiko Chiba Associates, 東京, 2018年)、「測量 | 山」/「砂の下の鯨」(資生堂ギャラリー, 東京, 2017年)、グループ展に「TOKAS-Emerging 2020」(トーキョーアートアンドスペース, 2020年)、「VOCA展2018 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館, 2018年)などがある。



《トウモロコシ畑を編む》 2021年
© Han Ishu, courtesy of ANOMALY

潘逸舟

Han Ishu

1987年、上海生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。社会と個、他者と自己、風景という他者と自己との関係性を作品のテーマとして、映像、インスタレーション、写真、絵画など様々なメディアを用いて制作を行う。映像作品では、自らのパフォーマンス映像を多く制作している。主な個展に「The Drifting Thinker」(MoCA Pavilion, 上海, 2017年)、グループ展に「In the Wake – Japanese Photographers Respond to 3/11」(ボストン美術館, 2015年/ジャパン・ソサエティー, NY, 2016年)、「アートセンターをひらく第I期」(水戸芸術館現代美術センター, 2019年)など。2020年、「日産アートアワード」グランプリ受賞。



《山つなみ、雨間の語らい》 2021年
© Komori Haruka + Seo Natsumi

小森はるか+瀬尾夏美

Komori Haruka + Seo Natsumi

小森はるか(映像作家/1989年生まれ)と瀬尾夏美(アーティスト/1988年生まれ)によるアートユニット。2011年3月、東北の被災地にふたりで赴いたことをきっかけに、ユニットの活動を開始する。2012年から3年間、岩手県陸前高田市で暮らしながら制作を行う。2015年には陸前高田から仙台に拠点を移し、一般社団法人NOOKを設立。各地で対話の場づくりを行いながら、風景と人々の言葉の記録を軸として作品制作をしている。主なグループ展に「記録と想起—イメージの家を歩く—」(せんだいメディアアテック, 2014年)、「日常のあわい」(金沢21世紀美術館, 2021年)など。



《Untitled #387, Okinawa, Japan》
《We are Made of Grass, Soil, Trees, and Flowers》より 2021年
© Yamamoto Ayaka, courtesy of Taka Ishii Gallery Photography / Film

山元彩香

Yamamoto Ayaka

1983年、兵庫県生まれ。京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース卒業。2004年のサンフランシスコへの留学を機に写真の制作を始める。馴染みのない国や地域へ出かけ、そこで出会った少女たちを撮影することで、その身体に潜む土地の記憶と、身体というものの空虚さを写真にとどめようとする。主な個展に「organ」(void+, 東京, 2019年)など。東欧やアフリカの各地で撮影を行い、国内外で写真展やレジデンスに参加。2019年に出版された写真集『We are Made of Grass, Soil, and Trees』(T&M Projects, 2018年)でさがみはら写真新人奨励賞を受賞。

表：《Untitled #286, Mzimba, Malawi》《We are Made of Grass, Soil, Trees, and Flowers》より 2019年
© Yamamoto Ayaka, courtesy of Taka Ishii Gallery Photography / Film



《Coppe 千歳市 2015年9月》《AINU》より 2015年
© Ikeda Hiroshi

池田宏

Ikeda Hiroshi

1981年、佐賀県生まれ。大阪外国語大学外国語学部スワヒリ語科卒業。2008年から北海道に通い、アイヌの人々のポートレイトを撮影している。先住民族という括りでは語れない、そこで暮らす個人をとらえてきた。2019年に写真集『AINU』(リトルモア)を刊行。近年の個展に「SIRARIKA」(スタジオ35分, 東京, 2018年)、「AINU-LANDSCAPE」(スタジオ35分, 東京, 2019年)、「AINU-PORTRAIT」(Title, 東京, 2019年)、「SINUYE (シスイエ)」(創作一心跡地, 北海道, 2020年)、「現代アイヌの肖像」(東京都人権プラザ, 東京, 2020-21年)などがある。2020年、日本写真協会賞新人賞を受賞。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。